

さかsegawa 市議会だより

発行所

〒370-0046 高崎市江木町1625-1

TEL / FAX 027-330-1190

編集責任者 高崎市議会議員

逆瀬川義久

E-mail sakasegawa@wine.ocn.ne.jp

http://www.komei.or.jp/km/

sakasegawa-yoshihisa/

【あいさつ】
輝かしい新春を迎え、皆様には良い年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。
高崎市は、平成23年4月1日より「中核市」に移行し、県から多くの事務権限が移りました。
議会としても議員一人一人の意識改革のため、議長の諮問機関として議会改革検討委員会を立ち上げ、取り組みをスタートさせたところです。
そしてその一環として本会議のインターネット配信が平成24年6月議会からスタートしました。
市議会議員二期目も折り返し。その間、幅広い分野の相談をいただくなか、各地域の区長の皆さま方と連携を



平成24年に本会議で行った質問項目!!

《皆さまと行政のパイプ役に》

◇健康・福祉・教育

- ・買い物弱者・交通弱者対策の充実
- ・介護ボランティアポイント制度の導入
- ・地域包括支援センターに愛称を
- ・国保特定健診の充実
(がん検診との同時受診、クレアチニン検査の追加など)
- ・学校校舎の耐震化をスピードアップすべき
- ・小中学校での補充学習を充実させ学力向上を
- ・スクールソーシャルワーカー(SSW)の更なる配置

◇災害対策・まちづくり

- ・地域の防災力向上へ防災士の活用
- ・避難所運営ゲーム(HUG)の導入を
- ・指定避難所と一時避難所のあり方について
- ・下水道整備の促進

◇財政状況について

- ・合併特例債の状況や地方交付税一本算定の影響

他

決にいたる場合もあれば、本会議で質問をし、当局の考え方を聞いたいただいた事もありました。
今後とも皆さま方の期待に応えられるよう精進して参りますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



◇地域サポート活動 すすめています!!



道路舗装のため、国から市へ所有者を変更。長年の懸案が解決しました。(並榎坂下町内)



河川土手に繁茂していた雑草を福重県議との連携で除草しました。(南新波町内)



夜間暗い、カーブの連続する道に反射ポールを取り付けました。(倉渕地域内)



側溝のふたを整備しました。(江木町内)

12月定例議会「ご報告」

地域主権改革の関連条例が可決

11月30日から12月14日まで、15日間の会期で開かれていた12月議会では、58議案が審議・可決されました。

なかでも**地域主権改革一括法**により、今まで国が一律に定めていた様々なルールを、各自治体が独自に基準を定めることができるようになったため、高崎市でも本議会で34の条例案を上程しました。

市独自の基準としては、福祉施設では地域との連携を、老人施設では緊急ブザーの設置などを盛り込みました。

12月議会一般質問（1）

◇地域の防災力を

更に高めるために

（質問）地域では、普段からの取り組みが大切と、様々な防災訓練が行われている。そこで防災訓練の一環として、平成19年に静岡県が考案した「避難所運営ゲーム（HUG）」を加え活用したらどうか。

「避難所運営ゲーム」は、被災時に想定される避難所運営の課題が書かれたカードを使って、様々なケースを疑似体験するもの。手軽に効果的な訓練が出来る注目を浴びているがご所見を伺う。

（総務部長）避難所運営ゲーム（HUG）は、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験し、

本市の地域防災計画の考え方と合致する部分もあり、地域の皆さまの意識啓発など一定の効果が期待できると考えている。

このHUGは高崎市内でも地域や団体からの要請を受け、各所で実施しており、市職員も見学させていただいている。今後は円滑な避難所運営を検討していく中、HUGについても検討していきたい。



12月議会一般質問（2）

◇下水道の整備促進について

（質問）下水道の認可区域に入ると、

家の建築時に浄化槽補助が受けられなくなるが、下水道整備の遅れから接続のタイミングが合わないなどの問題が発生する。**整備の進捗状況と遅れの原因**を伺う。

（下水道局長）合併以後の整備の進

捗状況は、市全体で現在70・9%、5年前と比較して1・9%増加している。

一方全国の下水道普及率は75・8%で5年間で5・3%増加、群馬県は50%で5年間で5・2%増加している。

整備が遅れている背景としては、かつて国において下水道事業を景気対策として推進した時期があり、その結果、各自治体で多額の企業債残高を抱える結果となった。

高崎市も同様で、経営の立て直しが求められる状況になり、財務体質の健全化を目的に過去の高金利企業債93億円の繰り上げ償還を行うこととなった。

一方で「経営健全化計画」も義務付けられ、平成26年度までの事業費に制限を受けている。またリーマンショックや東日本大震災の影響もあり、国からの補助金も要望額の約80%になっている状況である。

（質問）認可区域内の今後の整備の方向性と、認可区域の指定の考え方について伺う。

（下水道局長）認可区域内の整備は面積比で約75%、人口比で約88%まで進んでおり、今後は地域バランスや住民要望に十分配慮し、効率的な整備を進め、早期に終了できるよう進めていきたい。認可区域の拡大は、その受け皿となる「県央水質浄化センター（玉村町）」の処理能力を増強する必要がある。県が地元と協議を行っている。

☆市議会中継☆

平成24年6月からスタート！！

インターネット（ライブ&録画）

で好評配信中！

◇12月現在、アクセス数は14,000件を突破

「高崎市議会」で検索、議会中継のページへ



* 市民相談お気軽に！